

普及活動情勢報告（平成30年2月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

促成キュウリ現地検討会の開催 ～厳寒期の栽培管理と環境制御について～



生育状況を見ながら熱心に意見交換する農家

農業改良普及課では、昨年12月から現在にかけ、キュウリの主要種苗会社による現地検討会での、厳寒期の管理や環境制御などについて栽培農家と意見交換をしながら、実証ほでの調査を継続しています。

農家は、かん水量や温湿度管理、炭酸ガス濃度について、興味を持っていることがわかり、こうした現地検討会や実証ほの設置により、理解が進んできています。

農業改良普及課では、引き続き関係機関と連携し、環境制御技術の有効性を示しながら農家の関心を高め、普及、推進していきます。

白絹病防除対策等徹底で次作も高品質ニラ生産を！ ～JAコスモスイの・吾北地区ニラ部会反省会を開催～



少人数なのがむしろプラス？
じっくりみっちり質疑応答。

農業改良普及課は2月1日JAコスモスと連携して平成29年作JAコスモス吾北支所ニラ部会反省会を開催し、生産者6人(研修生1人含む)が参加しました。

JAから、出荷販売実績報告があり、農業改良普及課からは、今年発生が多かった白絹病の生態や地区の篤農家の防除履歴を参考とした防除体系と、予防防除の重要性等を紹介しました。

参加者からは、有効薬剤の使用時期や処理方法、薬剤の残効期間等の質問が多く出され、次作での防除対策の参考になりました。

農業改良普及課は、今後とも関係機関と連携し、研修会等により、高品質ニラの生産を推進します。

土佐岩戸米の更なるブランド力強化を図れ！ ～H29年度土佐岩戸米営農組合総会及び水稻勉強会開催～



米・食味鑑定士資格を持つ外部
講師によるブランド化の手法や栽培
技術を傾聴

2月7日、土佐岩戸米営農組合は平成29年度総会及び水稻勉強会を開催し、組合員21人が参加しました。

農業改良普及課は、総会開催への支援とブランド力強化に向け、事業や取組案の紹介を行い、次年度のブランド化に向けた内容が協議されました。勉強会では肥料製造、農薬卸販売業者らを講師として高品質・良食味米生産に向けた土づくりや病虫害・施肥管理技術、ブランド化の手法や他産地のブランド化の取組状況等について学びました。

農業改良普及課は、引き続き組織活動の活性化を支援するとともに、次回水稻勉強会に向け、29年度全国コンクール出品データ解析を行います。